



新しい学習指導要領で 学校は変わりましたか

新潟県教育庁義務教育課長 渡辺 伸 栄

「新しい学習指導要領で学校は変わります。」と題したパンフレットを当時の文部省が配布したのは平成12年の4月でした。新学習指導要領が告示されたのは10年12月、以来、3年余の準備を経て新学習指導要領がスタートしたのが14年4月です。

冒頭にあげたパンフレットには、次のような項目が並んでいます。

- 完全学校週5日制の実施・・・学校，家庭，地域社会での教育や生活全体で，子どもたちに[生きる力]をはぐくみ，健やかな成長を促す。
- 分かる授業，楽しい学校の実現・・・基礎・基本を確実に身に付けるため個に応じた指導を充実。自分の興味・関心に応じて選んだ教科や課題の学習に主体的に取り組み，学ぶことの楽しさや成就感を味わう。
- 自ら学び自ら考える力の育成・・・多くの知識を教え込む教育からの転換，体験的な学習や問題解決的な学習の重視。
- 総合的な学習の時間の新設・・・各教科等の学習で得た個々の知識を結び付け，総合的に働かせることができるようにする。

今，新教育2年目を迎えているわけですが，各学校，新しい学習指導要領でどのように変わったでしょうか。

当課では，平成15年1月に，小学5年(658名)・中学2年(759名)とその保護者にアンケートを実施しました。小学生の結果では，「学校に満足」が「満足・まあ満足」合わせて92%，「授業が分かる」が「とても・だいたい」合わせて84%となっており，総合的な学習の時間についても，「自分で調べたい問題に挑戦できてやる気が出る」が「とても・やや」合わせて72%，「体を動かして実際に体験する活動があって楽しい」が同様に92%，「地域に関心を持ち，地域の行事などに参加するようになった」が70%など，好結果となっています。また，保護者の回答も，「やる気をもって勉強に取り組んでいる」が71%など，概して良好な結果となっています。

これらの結果や本年5月当会実施のNRT，あるいは最近公表した平成14年度不登校児童生徒数の減少などから，各学校のご努力の下，新教育はおおむね順調なスタートを切っていると大変うれしく受け止めているところです。

ぜひ，各学校において学校評価の結果を公表し，新しい学習指導要領によって学校が，授業が，先生が変わったことを具体的に説明していただきたいと思います。そして，そのことによって，何よりも子どもたちが変わりつつあることを説得力のある数値や言葉を使って具体的に説明していただきたいと思います。